

令和 2 年度

葛飾区 予算案 概要

【当初予算案主要事業概要】

抜粋



柴又フロリズ通りフェスティバル

※子ども・子育て支援事業に関連するものを抜粋しております。

令和2年2月



第2章 令和2年度重要施策と重点事業

1 子どもが元気に育ち、豊かな人間力を育む環境づくり

☞若い世代が安心して子育てができる環境を充実させます！

人口減少の時代を迎え、安心して子どもを産み、仕事と育児を両立しやすい環境の整備や子育てへの不安感を軽減するための支援などは、引き続きの課題です。

区では、次世代の社会を担う子どもたちを心身ともに健やかに育てていくために、妊娠期から子どもが成人するまで一貫して支援する「葛飾区版ネウボラ」を推進し、家庭や地域、学校と連携し、子どもの育成をサポートする環境を構築していきます。

また、学力・体力向上を促進するため、わかりやすく理解が深まる授業の実施や運動する機会の拡大、グローバル人材の育成などについて創意工夫を重ねるとともに、学校施設の改築や大規模改修など教育環境の整備を計画的に進めていきます。

1 健康・発育の支援

1 園 保育所等訪問支援事業【計画】（福祉費）

障害者施設課 2. 0百万円

子ども発達センター（児童発達支援センター）の職員が保育所や幼稚園を訪問し、発達に課題がある児童の療育を行うとともに、当該施設の職員等と連携して、保育を実施する体制を整備することにより、発達に課題がある児童への適切な支援を行います。

2 園 産後ケア体制の整備【計画】（福祉費）

青戸保健センター・子ども家庭支援課 2.5百万円

産後の健康管理や授乳などに不安を抱える母子に対して、心身のケアや授乳指導、育児支援を行う産後ケア事業（宿泊ケア、乳房ケア、デイケア）を実施することで、安心して子育てができるよう支援します。

※P-30 葛飾区版ネウボラの推進に再掲

3 歯科健康診査【計画】（衛生費）

健康づくり課 6百万円

妊娠による身体や生活環境の変化により、妊娠中は歯科疾患が増加することが多く、また、生まれてくる子どもの口腔環境は母親の口腔環境の影響を大きく受けるため、妊婦を対象とした歯科健康診査と保健指導を実施します。

受診見込数 1,080人

※P-30 葛飾区版ネウボラの推進に再掲

4 妊婦健康診査【拡大】（福祉費）

子ども家庭支援課 305百万円

妊婦と胎児の健康管理の充実及び妊娠にかかる経済的負担の軽減を図るため、妊婦健康診査の費用の一部を助成することにより、安心して出産が迎えられるようにします。

2年度は、超音波検査の公費負担回数を1回から2回に拡大します。

※P-30 葛飾区版ネウボラの推進に再掲

5 かつしか子ども応援事業【計画】（福祉費）

子ども応援課 23百万円

家庭の経済状況や養育環境など様々な事情を有する子どもが、家庭や学校以外で安心して過ごすことができる場を提供します。

また、保護者の子育ての悩みや不安に応じる養育支援や、学習意欲を喚起する支援を行うとともに、高校生世代の中途退学未然防止のための支援や中学卒業後進路未決

定者や高校中退者の学び直し、就学支援などを行います。

※P-30 葛飾区版ネウボラの推進に再掲

6 匁若者支援体制の整備【計画】（福祉費）

子ども応援課 10百万円

長期にわたり就学・就労等の社会参加ができずにひきこもり状態等にある若者や、人間関係・仕事・孤独・将来への不安などの悩みを持つ若者を支援するため、相談窓口において、本人又はその家族等からの相談を受け、関係機関と連携して適切な支援を行います。

※P-30 葛飾区版ネウボラの推進に再掲

7 匁子ども・若者活動団体支援【計画】（福祉費）

子ども応援課 9百万円

社会生活を営む上で、様々な困難や事情を有する区内の子ども・若者（おおむね39歳まで）を対象に支援を行う地域活動団体に対し、活動の立上げに係る経費や運営経費の一部を補助し、活動を支援するとともに、地域活動団体との連携を深め、子ども・若者の自立や健やかな育成を図ります。

（1）事業立上げに対する助成

補助率 10/10

補助限度額 20万円

（2）活動費に対する助成

①日常的な支援活動

補助率 2/3

補助限度額 月1回以上実施 30万円/1事業

週1回以上実施 60万円/1事業

②子ども・若者支援等に資するイベント事業

補助率 2/3

補助限度額 60万円/1事業

8 園 児童相談体制の強化【計画】（福祉費）

児童相談所設置準備担当課 101百万円

児童虐待や養育困難を始めとした子どもと家庭の問題に対して、子ども総合センターが中核となって関係機関とのネットワークを更に深化させ、適切な子育てサービスを、課題を抱える親子に対してより円滑に提供する体制を構築します。

また、5年度を目標に児童相談所等を設置し、児童相談体制の強化を図ります。

スケジュール

令和元年度	基本構想策定
令和2年度	基本計画策定、基本設計
令和3～4年度	実施設計・建設工事
令和5年度	開設

9 園 児童発達支援センターの整備支援【計画】（福祉費）

障害者施設課 10百万円

増加する療育ニーズに対応するため、社会福祉法人に対して施設整備費の一部を助成することにより、児童発達支援センターを計画的に整備します。

2年度は、（仮称）高砂児童発達支援センターの整備を支援します。

所在地 高砂三丁目26番

サービス内容 児童発達支援40人、障害児相談支援、保育所等訪問支援

施設規模 延床面積 約546㎡
木造 2階建
開設予定 令和2年10月
運営者 社会福祉法人 常盤会

2 子育て環境の充実（重要プロジェクト）

1 園保育所の設置【計画】（福祉費）

子育て推進担当課 1,034百万円

保護者の就労等により保育が必要な家庭が多い中、待機児童の解消はもとより、保育施設が不足する地域を中心に認可保育所の整備を進めます。整備を計画する事業者に対して、施設整備費の一部を助成します。

(1) (仮称) 奥戸二丁目保育園

所在地 奥戸二丁目37番
定員 60人
保育内容 11時間保育・2時間延長保育・緊急一時保育・障害児保育・
(予定) 産休明け保育
施設規模 延床面積 約463㎡
木造 2階建
開設予定 令和3年4月
運営者 ミアヘルサ株式会社

(2) (仮称) 高砂七丁目保育園

所在地 高砂七丁目15番
定員 60人
保育内容 11時間保育・2時間延長保育・緊急一時保育・障害児保育・

(予定) 産休明け保育・子育てひろば・一時保育

※子育てひろばについては、P-21 子育てひろばの設置として計上

※一時保育については、P-22 一時保育の設置として計上

施設規模 延床面積 約585㎡

木造 3階建

開設予定 令和3年4月

運 営 者 社会福祉法人 まあれ愛恵会

(3) (仮称) 東金町四丁目保育園

所 在 地 東金町四丁目16番

定 員 60人

保育内容 11時間保育・2時間延長保育・緊急一時保育・障害児保育・

(予定) 産休明け保育

施設規模 延床面積 約509㎡

鉄骨造 2階建

開設予定 令和3年4月

運 営 者 株式会社 日本保育サービス

(4) (仮称) 東金町五丁目保育園

所 在 地 東金町五丁目19番

定 員 73人

保育内容 11時間保育・2時間延長保育・緊急一時保育・障害児保育・

(予定) 産休明け保育

施設規模 延床面積 約479㎡

鉄骨造 2階建

開設予定 令和3年4月

運 営 者 株式会社 Kids Smile Project

(5) (仮称) 細田三丁目保育園

所 在 地 細田三丁目16番

定 員 60人

保育内容 11時間保育・2時間延長保育・緊急一時保育・障害児保育・
(予定) 産休明け保育・子育てひろば・一時保育

※子育てひろばについては、P-21 子育てひろばの設置として計上

※一時保育については、P-22 一時保育の設置として計上

施設規模 延床面積 約385㎡

鉄骨造 2階建

開設予定 令和3年4月

運 営 者 社会福祉法人 和順福祉会

(6) (仮称) 水元二丁目保育園

所 在 地 水元二丁目3番

定 員 60人

保育内容 11時間保育・2時間延長保育・緊急一時保育・障害児保育・
(予定) 産休明け保育・子育てひろば

※子育てひろばについては、P-21 子育てひろばの設置として計上

施設規模 延床面積 約533㎡

木造 2階建

開設予定 令和3年4月

運 営 者 ミアヘルサ株式会社

2 園 保育所の建替え（福祉費）

子育て推進担当課 213百万円

老朽化した奥戸保育園の建替えを行うとともに、定員拡充により待機児童の解消を図ります。整備を計画する事業者に対して、施設整備費の一部を助成します。

所在地	奥戸六丁目24番
定員	102人（定員2人拡充）
保育内容 （予定）	11時間保育・1時間延長保育・緊急一時保育・障害児保育・ 産休明け保育
施設規模	延床面積 約690㎡ 鉄骨造 3階建
開設予定	令和3年3月
運営者	宗教法人 妙法寺

3 園 「子育て支援施設の整備方針」に基づく施設整備（福祉費）

子育て推進担当課・保育課 593百万円

子育て支援施設の整備方針に基づき、老朽化した子育て支援施設の更新を行います。2年度は、東立石保育園・西亀有保育園の建替えに併せ民設民営化の取組を進めます。小菅保育園・小菅児童館、渋谷保育園・渋谷児童館の建替えに合わせ子ども未来プラザの整備を進めます。

(1) 東立石保育園（〔仮称〕東立石四丁目保育園として整備予定）

所在地	東立石四丁目45番 東立石三丁目3番15号（仮園舎）
定員	165人（現在の定員153人）
保育内容	11時間保育・2時間延長保育・緊急一時保育・障害児保育・

(予定) 産休明け保育・子育てひろば・一時保育

※子育てひろばについては、P-21 子育てひろばの設置として計上

※一時保育については、P-22 一時保育の設置として計上

開設予定 令和3年4月(民設民営)

運営者 社会福祉法人 徳育会

(2) 西亀有保育園

所在地 西亀有三丁目31番

西亀有一丁目18番(仮園舎予定地) ※都から借受予定

定員 未定(現在の定員118人)

保育内容 11時間保育・1時間延長保育・緊急一時保育・障害児保育

(予定)

開設予定 令和5年4月(民設民営)

運営者 公募により選定

(3) (仮称) 子ども未来プラザ小菅

小菅保育園

所在地 小菅二丁目19番(子ども未来プラザ予定地)

小菅二丁目19番1号(仮園舎)

定員 未定(現在の定員106人)

保育内容 11時間保育・緊急一時保育・障害児保育

(予定)

開設予定 令和3年度後半(公設公営)

(4) (仮称) 子ども未来プラザ東四つ木

渋江保育園

所在地 東四つ木二丁目15番(子ども未来プラザ予定地)

	東立石三丁目3番15号（仮園舎）
定員	未定（現在の定員122人）
保育内容	11時間保育・1時間延長保育・緊急一時保育・障害児保育 （予定）
開設予定	令和5年度後半（公設公営）

4 園通年型預かり保育の実施【計画】（福祉費）

子育て支援課 138百万円

私立幼稚園及び認定こども園が実施している預かり保育において、保育時間や3季休業中の保育拡大、定期的な預かりを行います。それにより、地域型保育事業の連携施設として、主に小規模保育事業所及び家庭的保育事業所に通園する児童の卒園後の受け入れ先のひとつとするとともに、保育を必要とする児童の就学前の施設選択の幅を広げます。

5 園保育人材の確保【計画】【拡大】（福祉費）

育成課・子育て支援課 48百万円

就職支援コーディネーターが求職者と保育施設のマッチングを行うとともに、私立保育施設と連携して潜在保育士等に向けた研修や就職相談会を実施します。また、保育人材の確保と定着のための取組の支援や奨学金を返済している保育士等への支援を実施します。

（1）保育士就職フェア・求人サイトの開設

区内私立保育施設における保育士の人材不足を解消するため、就職支援事業者のノウハウを活用し、人材確保支援を強化します。

2年度は、就職フェアや求人サイトの制作等を一括して委託することで、一貫

性のある人材確保支援に取り組みます。

(2) 保育士等奨学金返済支援事業

区内の認可保育所等で働く保育士が奨学金を返済している場合に、月額2万円を上限に返済金の助成を行います。

2年度は、区内の定期長時間預かり保育実施施設に勤務する幼稚園教諭を対象に加えます。

(3) 保育士募集冊子の作成

保育士養成校卒業生や地方からの上京求職者など対象に、葛飾区で保育士として働くことへの魅力を発信します。

6 園 ゆりかご葛飾【計画】（福祉費）

青戸保健センター・育成課・子ども家庭支援課 92百万円

妊娠初期に個別に面接（ゆりかご面接）を行い、一人一人の状況にあわせた出産直後までのサポートプラン「葛飾区ゆりかごプラン」を作成し、必要な支援を行います。

乳幼児健康診査や産前・産後の母子を支える様々な事業、医療機関と連携し、就学期前までの継続的な支援を行います。

区民に身近な保健センターや子ども未来プラザなどにおいて、保護者の心身の健康の保持増進を図るための教室、講座等を実施します。また、妊娠・出産・育児に関する情報提供を行うほか、遊びなどの活動の中で気軽に相談に応じます。

※P-30 葛飾区版ネウボラの推進に再掲

7 園 子育てひろばの設置【計画】（福祉費）

子育て推進担当課 39百万円

保護者の子育てに関する不安感の解消を図り、子どもの健やかな成長をサポートす

るため、親子で遊べる場、子育て中の親同士が仲間づくりや相談ができる場として、「子育てひろば」の整備を保育所の整備に合わせて進めます。整備を計画する事業者に対して、施設整備費の一部を助成します。

(1) (仮称) 東立石四丁目保育園

※所在地ほかは、P-18 「子育て支援施設の整備方針」に基づく施設整備
(1)に記載

(2) (仮称) 高砂七丁目保育園

※所在地ほかは、P-15 保育所の設置(2)に記載

(3) (仮称) 細田三丁目保育園

※所在地ほかは、P-17 保育所の設置(5)に記載

(4) (仮称) 水元二丁目保育園

※所在地ほかは、P-17 保育所の設置(6)に記載

8 園一時保育の設置【計画】(福祉費)

子育て推進担当課 26百万円

安心して子育てできる環境を整備するため、親のリフレッシュなどにより保育が一時的に必要なときに子どもを預かる施設の整備を、保育所の整備に合わせて進めます。整備を計画する事業者に対して、施設整備費の一部を助成します。

(1) (仮称) 東立石四丁目保育園

※所在地ほかは、P-18 「子育て支援施設の整備方針」に基づく施設整備
(1)に記載

(2) (仮称) 高砂七丁目保育園

※所在地ほかは、P-15 保育所の設置(2)に記載

(3) (仮称) 細田三丁目保育園

※所在地ほかは、P-17 保育所の設置（5）に記載

9 園 学校施設を活用した放課後子ども支援事業【計画】【拡大】（教育費）

放課後支援課 186百万円

全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境を各小学校内に整備します。

2年度は、夏季休業期間中の小学校3校において、児童が自主的に活動する場を提供し、その見守りを行います。

※P-30 葛飾区版ネウボラの推進に再掲

3 仕事と生活の調和の推進

1 園 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）応援事業【計画】（総務費）

人権推進課 1.3百万円

区民一人一人に対し、それぞれの希望に応じて「仕事」と子育て・介護・地域活動などといった「仕事以外の生活」の調和（ワーク・ライフ・バランス）が図れるよう、区民・企業に向けた支援事業や、各種講座・セミナーの開催やイベントでの啓発活動などを実施します。

(1) 講座・講演会	企業向け講座・講演会	1回
	区民向け講座・講演会	2回
(2) 情報提供・啓発	産業フェア出展	1回
(3) 企業への支援	ワーク・ライフ・バランス支援アドバイザー派遣	6企業
(4) 事業所向け啓発誌		5,600部

2 男性の家庭生活への参画支援事業【計画】（総務費）

人権推進課 0.2百万円

家事・育児・介護などを男性と女性が協力して担えるように、必要な知識やノウハウの取得に向け、男性を支援する講座等を充実します。

家事・育児・介護参画講座 4回

4 教育環境の充実

1 学習センター（学校図書館）の整備【計画】（教育費）

指導室 162百万円

児童・生徒が主体的に考え、学べる環境をつくるために、学校司書を各小・中学校に配置するとともに、授業において学習センター（学校図書館）を活用し、調べ学習等の充実を図ります。

2年度は、学習センター（学校図書館）の活用のために、学校司書の配置日数を増やすとともに、学校図書館コーディネーターを指導室に配置し、学校司書の資質向上を図り、授業における調べ学習等の充実を促進します。

加えて、自学自習をする生徒の学習状況を見守ることができる人材を配置し、自学自習の習慣化をめざします。

※P-30 葛飾区版ネウボラの推進に再掲

2 教育情報化推進事業【計画】（教育費）

指導室 2,126百万円

グローバル化や情報化など急激な社会的変化の中で、未来の創り手となる子どもたちが、これからの時代に求められる資質・能力を確実に身に付けることができるよう、学校におけるICT環境の整備、授業及び校務におけるICTの活用等、教育の情報

化の推進を図ります。

2年度は、学校教育総合システムのリプレイスに併せてデジタルドリルの導入等、児童・生徒が活用するシステムの充実を図ります。また、中学校の特別教室に大型教材提示装置を整備し、授業におけるICT機器の活用を推進します。

3 国かつしかグローバル人材育成事業（英語によるコミュニケーション能力育成）

【計画】 【拡大】 （教育費）

指導室 100百万円

これからの社会をたくましく生き抜くことができる人材を育成することをめざし、「英語によるコミュニケーション能力」を育成できる環境を整備するとともに、そこで得られた資質や能力が十分に発揮できる取組の充実を図ります。

2年度は、中学2年生を対象にした英語検定料の助成を中学3年生まで拡大し、英語能力の測定機会を充実させ、英語学習の意欲向上を促進します。

また、夏季休業期間中の英語宿泊体験活動については、対象者を48人から100人に拡大し、異文化を体験しながら英語が学べる機会の充実を図ります。

（1）日光移動教室における体験的な外国語活動の実施

小学6年生の日光移動教室にALTが同行し、現地を訪れる外国人に対してインタビューを行うなど、英語で会話をする体験的な活動を行います。

（2）夏季休業期間中の英語宿泊体験活動（イングリッシュキャンプ）の実施

福島県にあるブリティッシュヒルズにおいて、中学1・2年生を対象とした英語だけで生活する体験活動を行います。ロールプレイなどを取り入れている施設独自の体験プログラムにより、普段の授業では体験できない機会を過ごし、コミュニケーション能力の向上を図ります。

（3）葛飾教育の日を活用した「English Day」の実施

A L Tを活用した外国語科及び外国語活動の公開授業を行います。

(4) 中学生海外派遣の実施

ホームステイや現地校への通学等、グローバル人材の育成を図るため、48人の中学2年生を対象とした海外派遣を実施します。

(5) 中学生英語検定料の助成

中学2・3年生を対象に1回分の英語検定料を助成します。

(6) 地域英語教材の活用

区独自の小・中学生向け地域英語教材を各校において活用します。

※P-30 葛飾区版ネウボラの推進及びP-107 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた取組に再掲

4 園 学校支援総合対策事業（発達障害の可能性のある子どもに対する重層的な支援体制の充実）【計画】（教育費）

学務課・指導室・学校教育支援担当課 48百万円

発達上の課題を抱えた児童・生徒に対する巡回指導を全小・中学校で実施します。

2年度は、現在高砂中学校に設置している「自閉症・情緒障害特別支援学級（固定学級）」を高砂小学校にも設置し、教育的なニーズに応じた指導・支援を行います。

※P-30 葛飾区版ネウボラの推進に再掲

5 園 学校支援総合対策事業（不登校対策プロジェクト）【計画】（教育費）

学校施設課・学務課・指導室・学校教育支援担当課 35百万円

不登校やその傾向にある児童・生徒の状況把握を行い、一人一人の学校復帰に向けた支援策を検討し、指導を行います。

2年度は、引き続き訪問型学校復帰支援や適応指導教室を実施するとともに、登校

はできるものの教室に入ることができない児童・生徒の学級復帰を支援するための校内適応教室を新たに奥戸中学校及び上平井中学校に設置します。

※P-30 葛飾区版ネウボラの推進に再掲

6 **■** 学校支援総合対策事業（日本語指導の充実）【計画】（教育費）

学務課・指導室・学校教育支援担当課 41百万円

来日直後等で、日常の学校生活で使う日本語や生活習慣についての指導が必要な児童・生徒に対して日本語の初期指導を行う「にほんごステップアップ教室」を運営します。

また、日本語の理解が十分でない児童・生徒及びその保護者と教職員との間の意思疎通を支援するため、引き続き日本語通訳の派遣を実施します。

2年度は、授業に必要な日本語の指導を行うための日本語学級を、現行の中之台小学校、松上小学校、新小岩中学校に加え、新たに亀有中学校に設置します。

※P-30 葛飾区版ネウボラの推進に再掲

7 **■** 体力向上のための取組み【計画】（教育費）

指導室 22百万円

児童・生徒の基礎体力の向上のため、全校で統一した目標に向けた「チャレンジ検定（体力）」を実施し、運動に取り組む機会をつくれます。小学校では、チャレンジ検定（体力）のチェックカードを作成し、日常の生活の中で検定を実施するとともに、全ての小・中学校において、創意工夫した取組を推進していきます。

また、小学校では、学校の実態に応じた体力向上の取組や東京2020大会に向けて意識の高揚を図るため、小学校では「葛飾体力伸び伸びプラン」を実施するとともに、中学校においては、「トップアスリート派遣事業」等の取組の充実を図ります。

これらの取組により、自ら運動・スポーツに親しむことができる「運動好き」の子どもたちを育成します。

※P-30 葛飾区版ネウボラの推進及びP-107 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた取組に再掲

8 学校施設の改築【計画】（教育費）

学校施設課・学校施設整備担当課・学務課 6,079百万円

適切な学習環境を確保できるよう、学校規模の適正化や老朽化の状況などを踏まえ、地域バランスを考慮しながら学校改築を進めます。

また、学校は地域の核となる公共施設であり、災害発生時には地域の避難所としての機能も併せ持っていることから、改築に当たってはそれら機能の強化に向け、地域の方々とともに検討しながら整備していきます。

2年度は、引き続き改築・改修を進めるほか、二上小学校、よつぎ小学校で基本構想・基本計画の策定に取り組みます。

(1) 改築校

小松中学校、東金町小学校、高砂けやき学園高砂小学校・高砂中学校、
水元小学校、道上小学校

(2) 一部改築・改修校

本田中学校、西小菅小学校

(3) 2年度より改築事業に着手する学校

二上小学校、よつぎ小学校

9 園 学校体育館への冷暖房機器の設置【計画】（教育費）

学校施設課 315百万円

安全で良好な教育環境を確保するため、また、災害時における地域の避難所としての機能を向上させるため、小・中学校体育館の全てに冷暖房機器を設置していきます。

2年度は、小学校22校の体育館に冷暖房機器を設置します。

10 園 校庭の芝生化【計画】（教育費）

学校施設課 136百万円

児童・生徒の学校活動及び地域住民による校庭の効率的活用の推進と、近隣への砂塵飛散の抑制のため、学校や地域の要望を踏まえながら天然芝又は人工芝の整備を実施していきます。

2年度は、大道中学校の校庭（約3,700㎡）で、人工芝生化を実施します。

5 学校・家庭・地域の連携

1 園 わくわくチャレンジ広場の充実（教育費）

地域教育課 217百万円

全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごせるよう、新たな執行体制を導入するなど、対象学年や実施日時の拡大を図ります。

2年度は、二上小学校と中青戸小学校でわくわくチャレンジ広場の運営の一部を委託し、児童指導サポーターと事業者が連携して児童の見守りを行います。

6 葛飾区版ネウボラの推進（重要プロジェクト）

1 葛飾区版ネウボラの推進（福祉費・衛生費・教育費）（再掲）

子ども家庭支援課・健康づくり課・指導室ほか 1,055百万円

妊娠期から子どもが成人するまでの期間を通して、妊娠・出産・子育てを切れ目なく支援するしくみを「葛飾区版ネウボラ」として推進します。

（福祉費） 455百万円

- ・産後ケア体制の整備（P-11）
- ・妊婦健康診査（P-12）
- ・かつしか子ども応援事業（P-12）
- ・若者支援体制の整備（P-13）
- ・ゆりかご葛飾（P-21）

（衛生費） 6百万円

- ・妊婦歯科健康診査（P-12）

（教育費） 594百万円

- ・学校施設を活用した放課後子ども支援事業（P-23）
- ・学習センター（学校図書館）の整備（P-24）
- ・かつしかグローバル人材育成事業（英語によるコミュニケーション能力育成）
（P-25）
- ・学校支援総合対策事業（発達障害の可能性のある子どもに対する重層的な支援体制の充実）（P-26）
- ・学校支援総合対策事業（不登校対策プロジェクト）（P-26）
- ・学校支援総合対策事業（日本語指導の充実）（P-27）
- ・体力向上のための取組み（P-27）